

愛知県

みよし市

三好中学校区

学校名 在籍者数 学級数

三好中学校	560名 18(3)	中部小学校	493名 18(2)
		天王小学校	536名 20(2)
		三吉小学校	397名 17(3)

※学級数の()は、特別支援学級数を内数として記入

見直し1 9～12月に重点・強化する内容

(調査研究委員会・小中連絡協議会等で関係者が協議した内容を基にみよし市教育委員会が作成)

- ・各小中学校の教職員が課題を共通理解して日々の指導にあたる。
- ・「主体的に学ぶ姿」や「学習（生活）規律」の共通認識を図る。
- ・全職員が他校の研究授業を積極的に参観するなど、「学び合い学習における」授業力をつける研修や協議会を実践する。
- ・小学校3校の足並みをそろえる為に、情報交換の場を設定し積極的に行う。
- ・本質的なねらいに迫る取組としては、「学び合いの授業」の質の向上を図る。
- ・学習の基盤となる授業の開始終了のあいさつ、友達の意見を聞く態度をもっと育てるよう教職員が継続的に指導する。
- ・「主体的な姿を」具体的に子どもたちに示す。
- ・授業のはじめには学習のめあてを必ず黒板に書き、授業の終わりには必ず授業のまとめや振り返りを行う。子どもに発表させるか、ノートに書かせる。

見直し2 前頁**1**を実効性あるものとするために縮小・統合・対象外とする内容

(調査研究委員会・小中連絡協議会等で関係者が協議した内容を基にみよし市教育委員会が作成)

- ・各学校内の児童生徒会活動の中で自己有用感を高める活動を取り入れており、小学校と小学校の連携の取組において、3小学校の部活動を通じた交流（合同練習会）は小中連絡協議会で話し合った結果、縮小していくことになった。

第3回意識調査 (H26.12実施) 結果

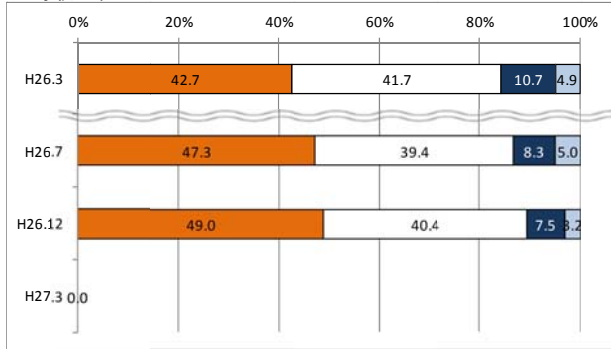
三好中学校

連携小学校

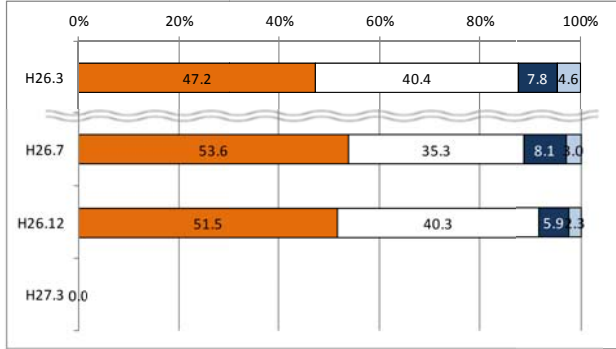
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

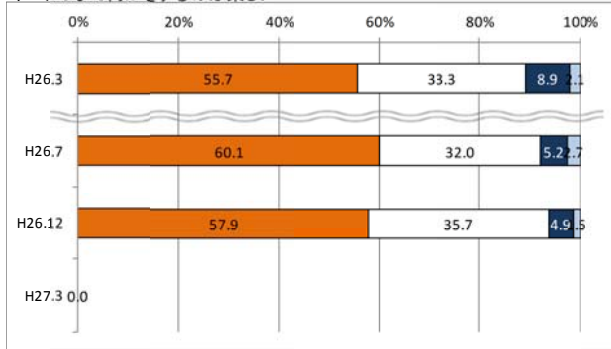
ア 学校が楽しい



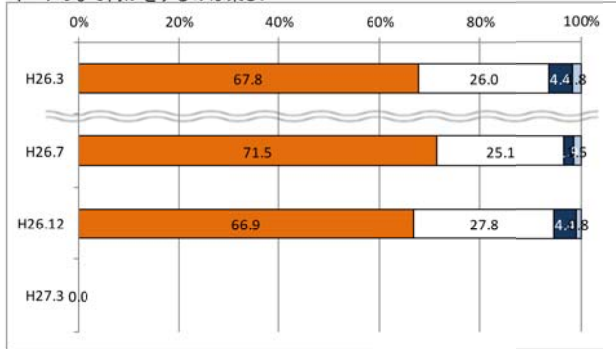
ア 学校が楽しい



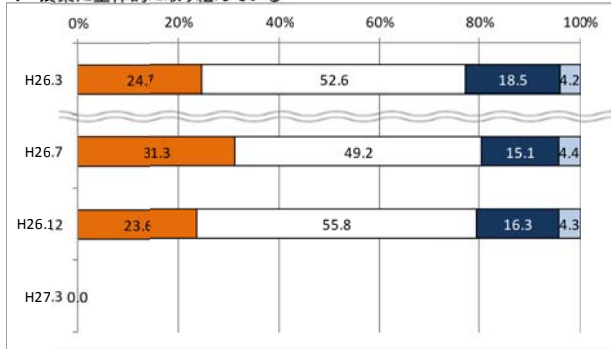
イ みんなで何かをするのは楽しい



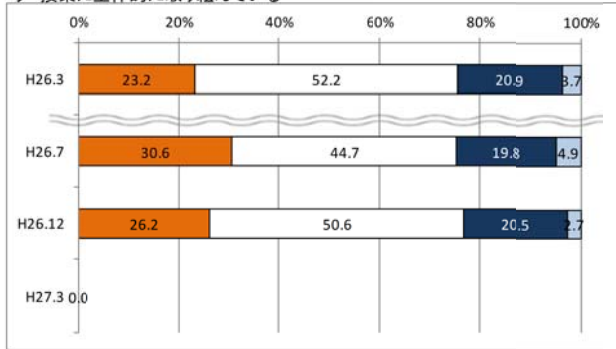
イ みんなで何かをするのは楽しい



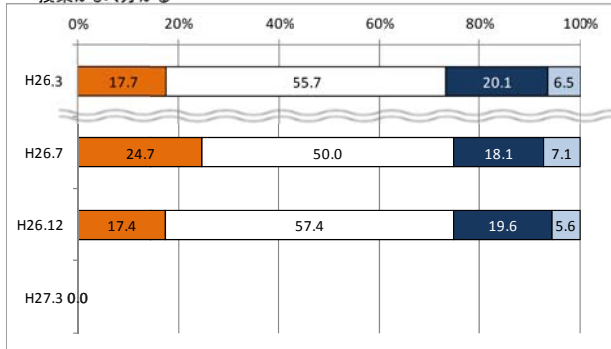
ウ 授業に主体的に取り組んでいる



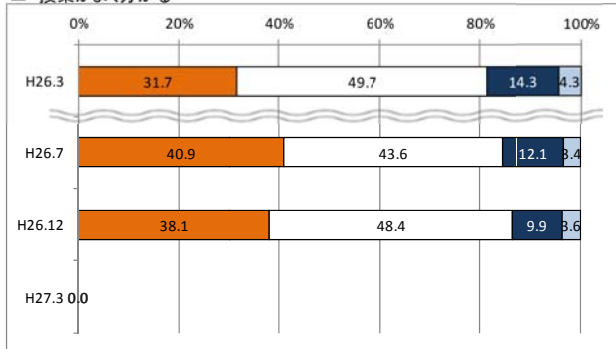
ウ 授業に主体的に取り組んでいる



エ 授業がよく分かる



エ 授業がよく分かる



第3回意識調査で「あてはまる」(ア~エ)「まったくない」(オ~ク)と回答した割合

第2回意識調査との比較

※割合の増減をポイントで表示

■...ア~エで割合が減少した箇所

● 中学3～1年生

	回答者数(N)	中3	中2	中1	中3	中2	中1
		(182)	(178)	(175)	(182)	(178)	(175)
ア 学校が楽しい		44	43	60	-1	+7	-1
イ みんなで何かするのは楽しい		54	51	69	-2	+4	-8
ウ 授業に主体的に取り組んでいる		28	20	22	-7	-1	-15
エ 授業がよくわかる		18	15	19	-2	-3	-18
オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした(暴力を受けた)		86	73	81	0	+3	+6
カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた		84	71	78	+3	+14	+10
キ 叩いたり、けったり、強く押されたりした(暴力をふるった)		89	74	81	+8	+3	+10
ク 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせた		84	77	78	+1	0	+2

● 小学6年生

	回答者数(N)	小6				小6			
		(217)	三吉小 (56)	中部小 (76)	天王小 (85)	(217)	三吉小 (56)	中部小 (76)	天王小 (85)
ア 学校が楽しい		54	68	49	49	+5	+17	-5	+5
イ みんなで何かするのは楽しい		67	75	66	62	-6	-11	-11	0
ウ 授業に主体的に取り組んでいる		25	32	26	20	-4	-21	+3	+1
エ 授業がよくわかる		37	36	36	39	-8	-19	-9	+1
オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした(暴力を受けた)		73	84	66	73	-1	+8	-6	-1
カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた		67	75	61	67	0	+11	-8	+1
キ 叩いたり、けったり、強く押されたりした(暴力をふるった)		77	80	67	84	-2	+7	-11	0
ク 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせた		73	74	70	74	-6	-1	-15	-3

● 小学5年生

	回答者数(N)	小5				小5			
		(257)	三吉小 (71)	中部小 (84)	天王小 (102)	(257)	三吉小 (71)	中部小 (84)	天王小 (102)
ア 学校が楽しい		49	41	48	57	-9	-16	-4	-6
イ みんなで何かするのは楽しい		67	78	62	64	-3	+1	-8	-1
ウ 授業に主体的に取り組んでいる		27	24	29	28	-5	-8	-9	+1
エ 授業がよくわかる		39	44	37	37	+1	+3	-8	+8
オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした(暴力を受けた)		64	79	50	65	-4	+9	-19	-1
カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた		57	61	57	55	-1	+4	+2	-6
キ 叩いたり、けったり、強く押されたりした(暴力をふるった)		67	73	62	67	-5	-14	-4	0
ク 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせた		69	79	64	66	-8	-10	-7	-7

学校全体・各学年教員集団による自己点検一覧

注：チェックシートで、②～⑧に該当する項目が「適切であった」「実施された」等肯定的回答の場合は「○」、「不適切であった」「実施されなかった」等の否定的回答の場合は「●」とした。⑨については、想定外に改善「↑」、悪化「↓」した場合のみ矢印で示し、想定内は空欄とした。なお、①が「◎」（十分達成された）場合、②～⑧は空欄となる。

	三好中				中部小			天王小			三吉小		
	全体	3年	2年	1年	全体	6年	5年	全体	6年	5年	全体	6年	5年
①目標は期待どおりに達成されたか	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●
②課題は実態を踏まえていたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③目標は課題に対して適切なものだったか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④目標の達成につながる行動計画だったか	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤行動計画は予定どおり実行されたか	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
⑥目標を意識して取り組まれたか	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦具体的な動きや目当てが共有されていたか	○	○	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○
⑧児童生徒が主体的に取り組む工夫はあったか	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○
⑨想定外の指標はあったか	↑↓			↑↓		↑	↑						

各校事業担当者の自己点検

(代表的・注目すべき内容を抽出)

課題 「みんなで何かをすることは楽しい」一方で、小中にわたって「授業に主体的に取り組んでいる」意識が低い。

②課題は実態を踏まえていたか

中部小…授業づくりに力を入れてきているが、「授業に主体的に取り組んでいる」が27.5%、前回より5.6ポイント減少である。継続して取り組む課題として適切だと考える。

目標 仲間と関わり合う場面を1時間の授業の中に設定し、主体的に学び合う児童生徒の育成を図る。

③目標は課題に対して適切なものだったか

天王小…2回目の調査では、授業に関わる項目について、一部の学年により傾向が見られた。「授業規律」「聴き合い」「自己有用感」などをキーワードにした目標で妥当だったと考える。

取組 ・ペア・グループ学習をとおして、主体的に学ぶ児童生徒を育む。
・児童会（生徒会）活動を軸として仲間と関わり合う楽しさを育む。

④目標の達成につながる行動計画だったか

三好中…「学び合い学習」の実践は徐々に浸透してきているが、研究授業後の協議会や各教科部会など、より効果的な実践になるための会にしていきたい。

天王小…ペア・グループ学習を前面に出し、主体的な授業を意識することによって、授業をより楽しいものにしようと考えたが、思ったほど効果は上がらなかった。

三吉小…各校の授業参観も設定されていたが、授業のある時間帯に他校に参観に行くことが難しく、あまり参観できていない。次年度改善する必要がある。小中の交流は、予定通りできた。

⑤行動計画は予定どおり実行されたか

三好中・天王小…年間計画（実施日程）どおりに実施できた。

中部小…第Ⅱ期のスタートに向けて、各部会ごとに計画されたものは実施できた。

三吉小…第Ⅱ期の行動計画の中で、特に小中連携の活動は、計画通り活発に行うことができた。授業のスキルアップも計画通り取り組めた。

⑥目標を意識して取り組まれたか

三好中…やるべき事項を明示することで共通認識は高まってきているが、効果的なペア・グループ学習といった授業力向上への意識をもっと高めなければならなかった。

中部小…関わり合う授業づくりは、参観シートの活用で意識が向上した。11月から始めた教職員の振り返りシートを活用し、やりがい活動や生活向上面にも浸透度を上げたい。

三吉小…ペア・グループ学習や、授業の目標の確認は完全ではないが、確実に行われるようになってきた。さらに、授業中の子ども一人一人の活躍ができるようにしていきたい。

⑦具体的な動きや目当てが共有されていたか

三好中…授業研修での参観シートの活用、教職員の共通意識を図るための意識調査の実施、各部会や全体会の定期的な実施を通して、教職員間への浸透度は高まってきている。

中部小…参観シートの活用で「関わり合う授業づくり」に向けて明確になった。やりがい活動や生活向上面は向上したが、効果的な支援の仕方を吟味することが十分できていない。

天王小…ペア・グループ学習は各学級でかなり意識して行われるようになった。授業のあいさつも聞く姿勢も第Ⅱ期に入り以前より浸透してきた。

⑧児童生徒が主体的に取り組む工夫はあったか

三好中…小・中学校間での交流活動や文化祭などの実行委員会など、様々な生徒が中心となって企画から運営する機会を多く設定することができた。

天王小…授業については、ペア・グループ学習が浸透し、主体的に活動できるようになってきたが、数値には結びついていない。

三吉小…ペア・グループ学習を取り入れるようになってきているが、児童の様子を見ると、話し合うことや活動する内容などが、確実に全員の子どものに伝わっていない場合があった。

⑨想定外の指標はあったか

三好中…「ペア・グループ学習」の実施や小・中学校間での交流活動等、実践している様子に反して意識調査結果では特に「当てはまる」項目の減少が目立った。

中部小…教職員の共通理解ができ、同じ方向を向き始めたが、数値としては下がっている。児童への浸透度がまだまだで、もっと具体的に子どもの姿をほめ、自信をつける必要を感じた。

三吉小…生活面も含め、ほとんどの項目で、「当てはまらない」は少なくなった。ただ、全体の指標はなかなか上がらず、「当てはまる」方を着目する必要があることが分かった。

教育委員会の指導・助言

各校の取組や点検を踏まえて

	みよし市教育委員会	愛知県教育委員会
②課題は実態を踏まえていたか	設定した「課題」は、適切であったが、小中にわたって「授業に主体的に取り組んでいる」意識が低い。今後も学び合い学習の充実を図りたい。	小・中学校ともに授業に関する項目の意識調査結果、児童生徒の実態を把握する学校の認識から、設定した課題は適切であったと考える。
③目標は課題に対して適切なものだったか	適切だったが、共通化した「授業規律・主体的に学ぶ姿」を基盤に、仲間と関わり合う場面を1時間の授業の中に設定し、主体的に学び合う児童生徒の育成をさらに図りたい。	プラス面の実態を土台にした目標設定は適切であったと考えるが、プラス面の意識も含め全体的に「当てはまる」層の数値が低下していることについて検証する必要がある。
④目標の達成につながる行動計画だったか	ペア・グループ学習を通して、主体的に学ぶ児童生徒を育む学び合い学習は計画通り行われているが、まだ学び合う授業が充実されていない。	ペア・グループ学習を中心とした「学び合い学習」に力を入れた方向性はよかったが、児童生徒の意識の向上につながっていない。
⑤行動計画は予定どおり実行されたか	予定通りに実行できている。児童が交流する等小小連携の在り方においては、教職員間の交流を中心に計画を見直した。年間行動計画も今年度中に一度見直す必要がある。	予定した行動計画は実行されたと考えるが、児童生徒の意識の向上にはつながっていない。
⑦具体的な動きや目当てが共有されていたか	授業スキルを向上させるために、学び合い学習についての理解をさらに深めたい。組織力を向上させ、生徒が面白いと思う授業づくりのために授業を見合い、磨き合いたい。	
⑧児童生徒が主体的に取り組む工夫はあったか	行事での主体的な生徒の取組は活発になってきている。授業では、学び合い学習から主体的な学習の姿勢を広げるためにペア・グループ学習をさらに充実させる必要がある。	ペア・グループ学習を始め児童生徒が主体的に取り組む活動を設定して実行しているが、意識調査の数値からは効果が出ていない。
⑨想定外の指標はあったか	中学校1年生では「授業に主体的に取り組んでいる」「授業がよくわかる」であてはまると回答した生徒が予想以上に少なかった。	前回調査に比べ、全体的に「当てはまる」と回答した割合が大きく低下している。

実態把握

課題

目標

取組

点検

見直し

取組

点検

見直し

見直し③ 1～3月に重点・強化する内容

(調査研究委員会・小中連絡協議会等で関係者が協議した内容を基にみよし市教育委員会が作成)

○授業力向上のための授業研修への参加について、授業時間の関係で連携校への参観が困難だった。

→年度当初より年間計画を作成し、小中の職員が十分に参観できる時間の確保を図る。

○学び合い学習の取組は実践できたが、効果的なペア・グループ学習といった授業力向上への意識をもっと高めねばならない。「生徒が主体となる活動(学習)」に対する意識とスキルの向上が必要である。

→校内の教科部会、授業協議会で焦点を絞って検討したり、空き時間に授業を見合いたい。授業研修や教科部会、小中連携をして普段の授業を見合うなど、授業力向上に努める。

○行事(実行委員会含む)での主体的な取組は活発になってきている。授業では、主体的な学習の姿勢を広げるためペア・グループ学習を設定する場面の工夫等、さらに授業改善を図っていく必要がある。

→主体的に授業に取り組めるために、「自分の考えを伝える活動」「学習のめあての明確化」「聴く姿勢の徹底」「ペア・グループ活動の場面の設定」「授業を語り合う協議会の設定」をさらに充実させる。

○ペア・グループを取り入れれば達成できるという思いをもっている教師もあり、何を話し合うためのペア・グループ活動なのかがはっきりとしなかった。

→ペア・グループ活動を取り入れる際、何を話し合うのか具体的に示す必要がある。また、話し合っ

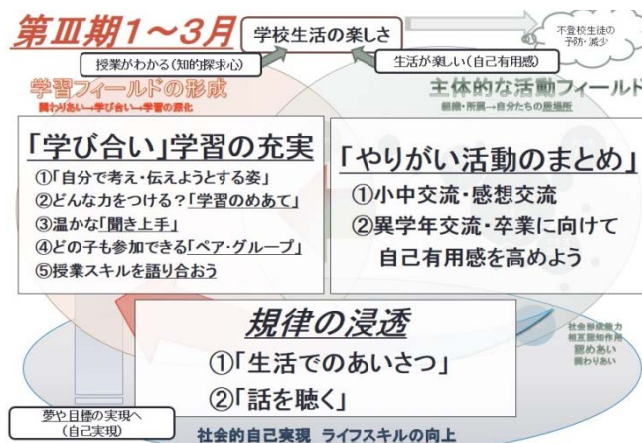
て自分の考えを確かめたいという意欲を喚起できるような、解けそうで解けない課題を設定する。

※小中連絡協議会で決めた活動方針

第Ⅲ期 1～3月の取組:「学び合い」学習の充実

主体的に学び合う授業づくりのために、

- ①「自分で考え、伝えようとする」姿を意識してほめ、広めていく。
- ②子どもたちにどんな力を付けたいかを考えて「学習のめあて」を必ず板書する。
- ③どんな意見も温かく受けとめられるよう、聴き上手な子どもを育てる。
- ④どの子も参加できるペア・グループ活動の取り入れ方を工夫する。
- ⑤教師が授業スキルを語り合う。



見直し4 前頁**3**を実効性あるものとするために縮小・統合・対象外とする内容

(調査研究委員会・小中連絡協議会等で関係者が協議した内容を基にみよし市教育委員会が作成)

- ・児童会の交流や部活動交流など児童の小小連携に関する部分の計画に無理があることが分かった。授業を見合ったり、小中連絡協議会で連携小学校区の学年部会をもつなど、小小連携の在り方を教職員間の交流に絞ることにした。